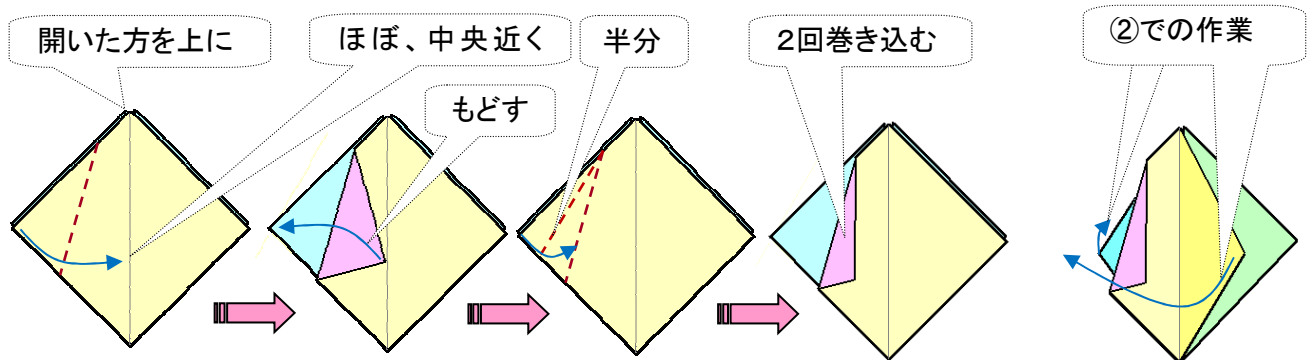


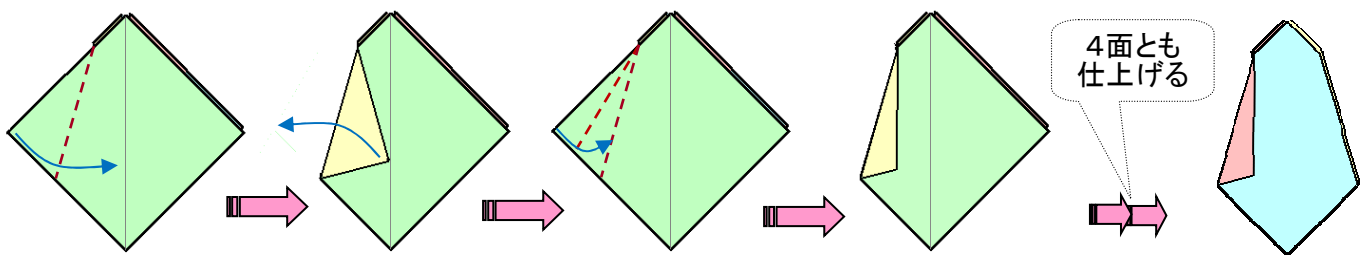
かわいい立体チューリップの折り方(4枚花弁:初級編)

- ① 1辺の長さが約8cmの折り紙を準備する。この紙を四角折り(基本的折り技術を見よ)にし、開いた方を上にして、図のように上部をやや細めに斜めに折る。次いで、これを元にもどし、その内側にさらに半分になるように折り、図のようにさらにこれを巻き込むように折る。

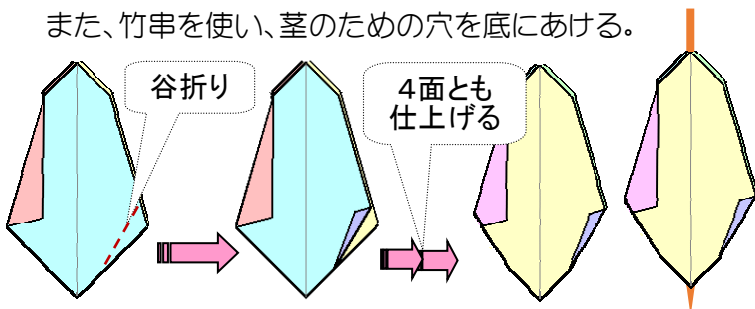
- ② ③の作業で、2枚目の面を折るために、図のように2つの面を回転させる



- ③ ①の折りに倣って、上に載せた2枚目の面を同じ位置で折る。このように、片方折りで4面とも仕上げる。

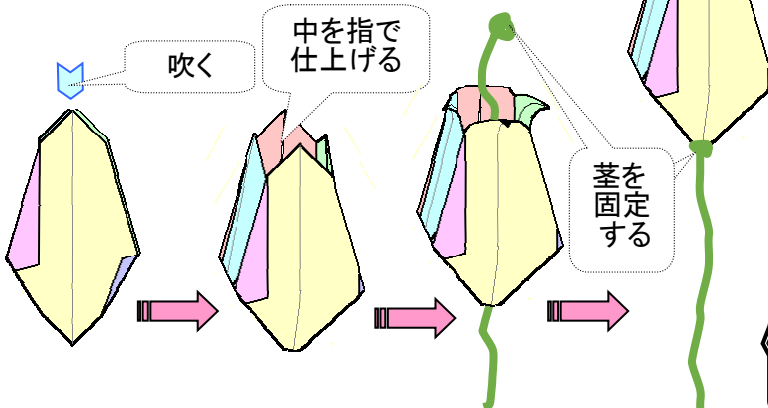


- ④ ③での折りがもどらないように、ここでは、その下部を図のように反対側に谷折りで折る。(4面とも折る)
 <注意:①③、④での折る角度によって、花の太さ、先端の花の開き具合など変えることができる。>
 また、竹串を使い、茎のための穴を底にあける。



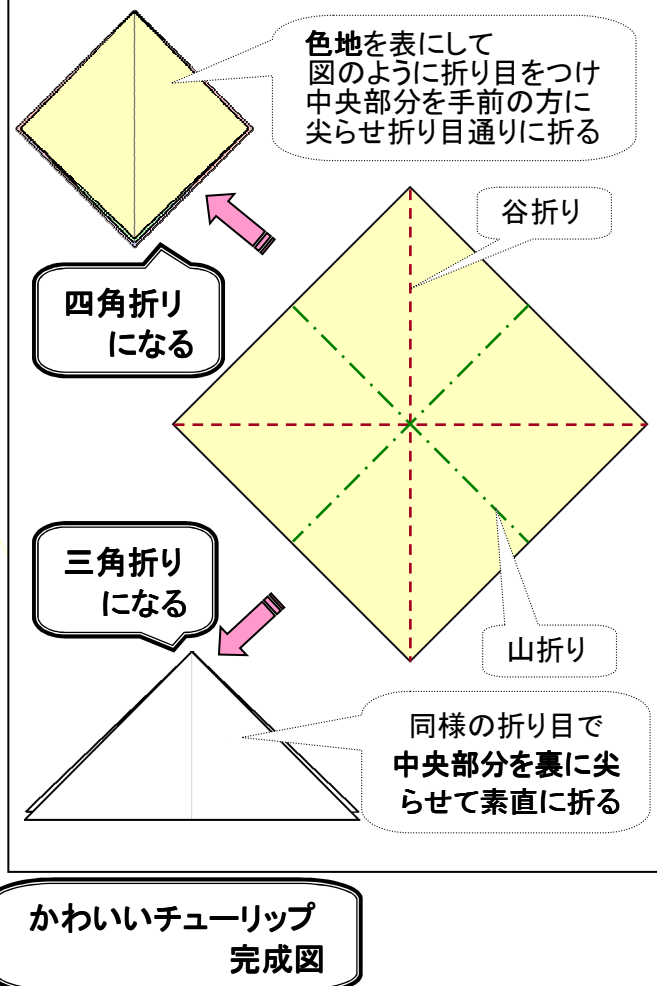
- ⑤ 形を整えるため、先端から軽く吹き、立体的に広げ、指で中をきれいに仕上げる。ちょうど太いところが立体の曲がる位置となる。花びらの先を竹串などで丸める。

- ⑥ 花茎を差し込んで上下を固定すれば完成。
 (花茎として、長さ約 25cmのモールが良い)



参考:四角折りと三角折り

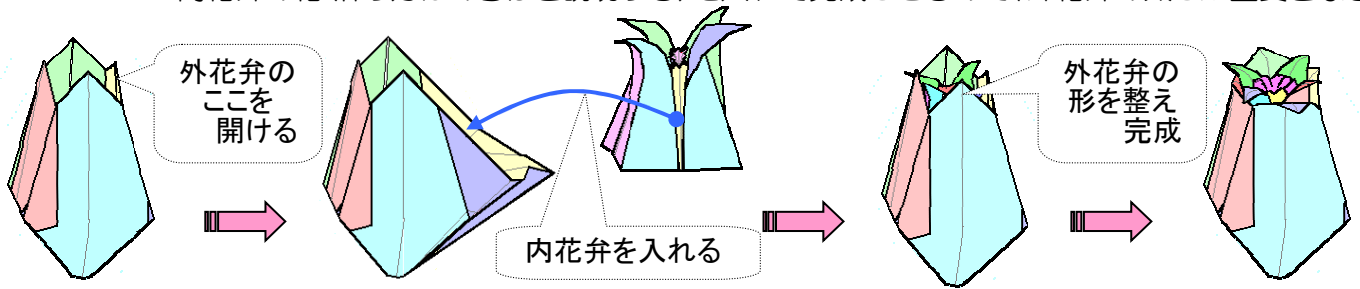
<基本的折り技術より>



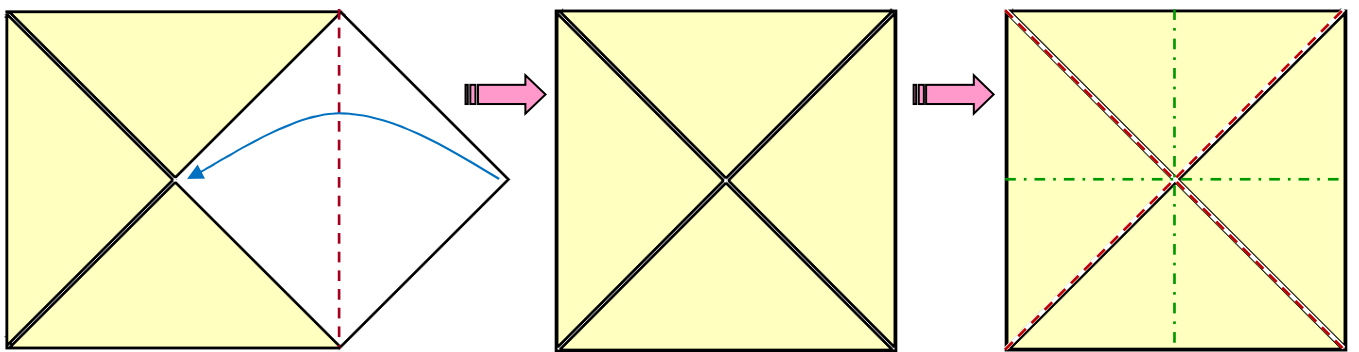
かわいいチューリップ
完成図

豪華な立体チューリップの折り方:その 1(外花弁編)

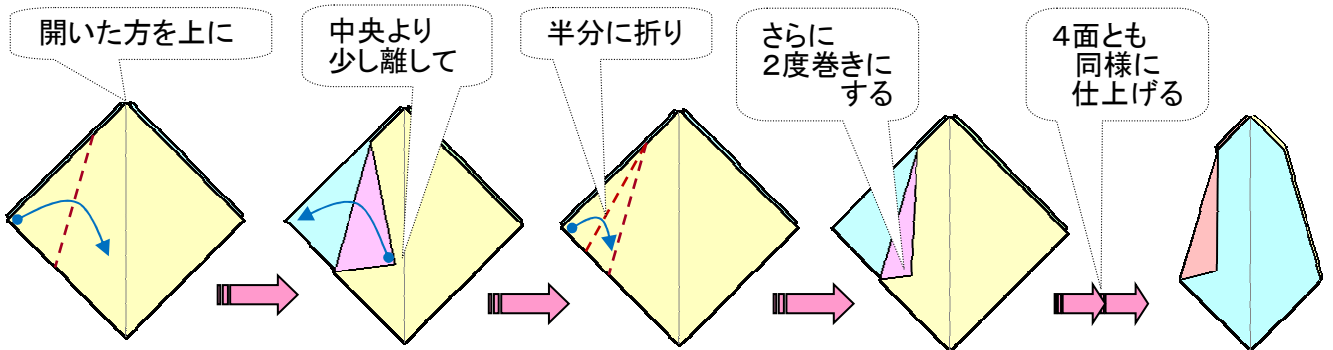
ここでは、外花弁の花(作り方はかわいいチューリップとほぼ同じ)の中に
内花弁の花(作り方はのちほど説明する)を入れて完成させるので、外花弁の太さが重要となる。



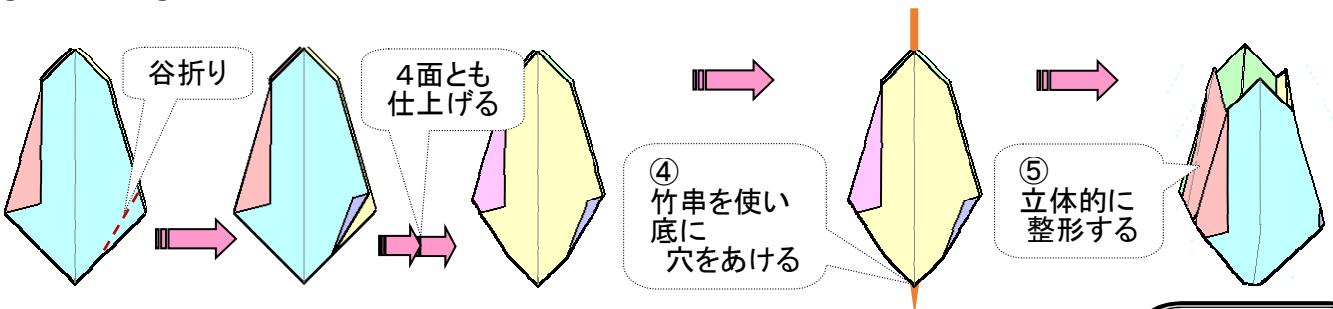
- ① 内花弁の大きさに合わせるため普通の折り紙を図のように四隅を中心まで折った大きさから始める。
(最後の図は②の四角折りからのための準備の折り目である)



- ② この大きさで、『かわいいチューリップ』の折り方と同様、四角折りにし、開いた方を上にして、図のように上部をやや細めに斜めに折る。(ただし、中花弁を入れるため、折り全体は中心よりやや外側にして、出来上がりがやや太くなるようにする。この加減がやや難しい) これを『かわいいチューリップ』の折り方と同様に、広げその半分に折り、さらにもう一度巻くように折る。この片方折りを4面ともに仕上げる。



- ③ 次に、②での折りが戻らないように、その下部の裏側を図のように反対に少し折る。(4面ともに仕上げる)

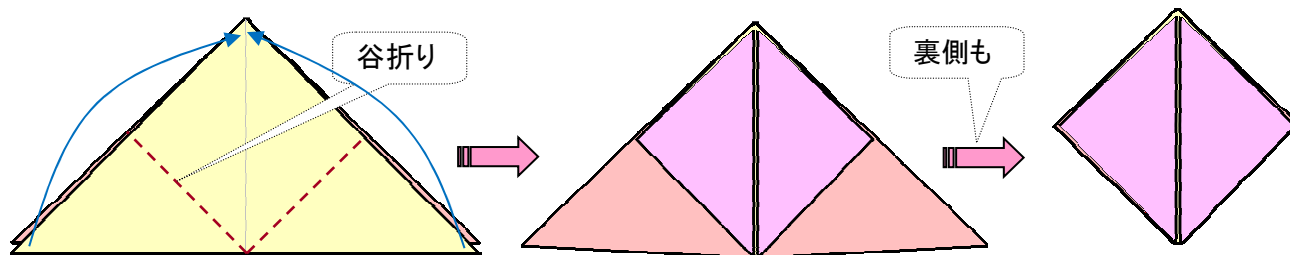


- ④ また、竹串を使い、茎のための穴を底にあける。
⑤ 最後に、『かわいいチューリップ』の折り方と同様、立体的に整形して、ここでの外花弁の完成とする。

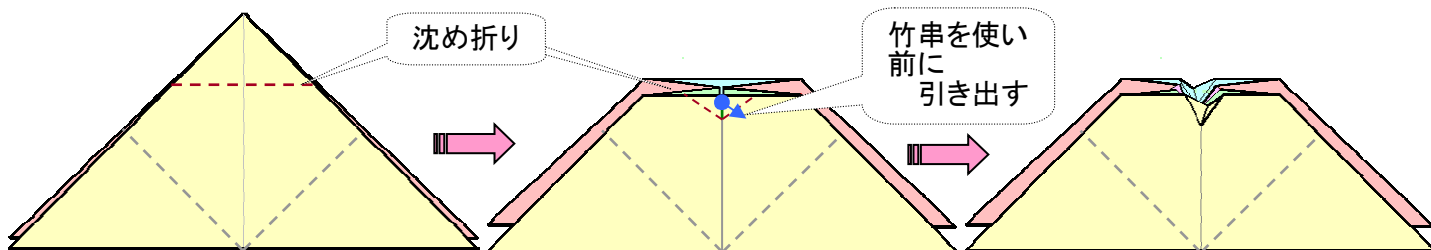
<外花弁>
完成

豪華な立体チュールリップの折り方:その2(内花弁編)

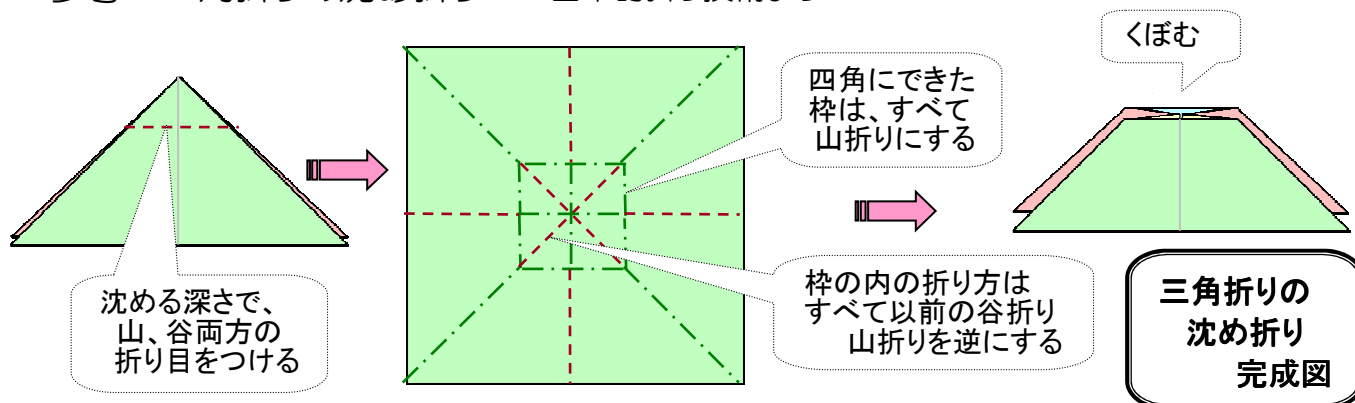
- ① 普通の折り紙の「三角折り」を準備し、図のように谷折りで三角の端を頂点に合わせる。(裏側も)



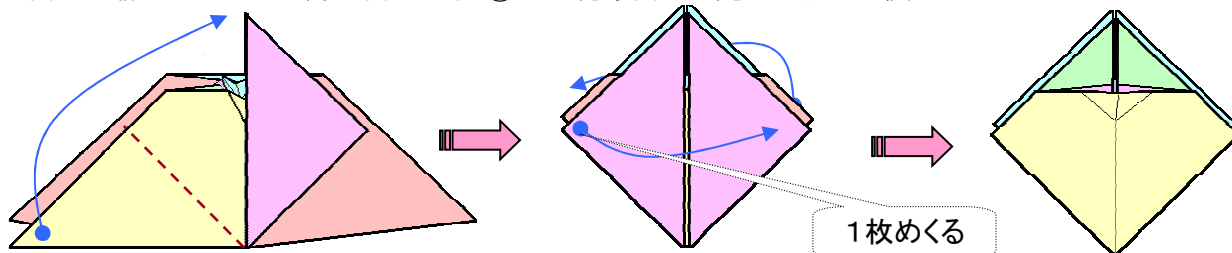
- ② もとの三角折りまで戻し、高さの 1/4 程度を「沈め折り」にし、竹串を使い3mmぐらいの折り出しを作る。



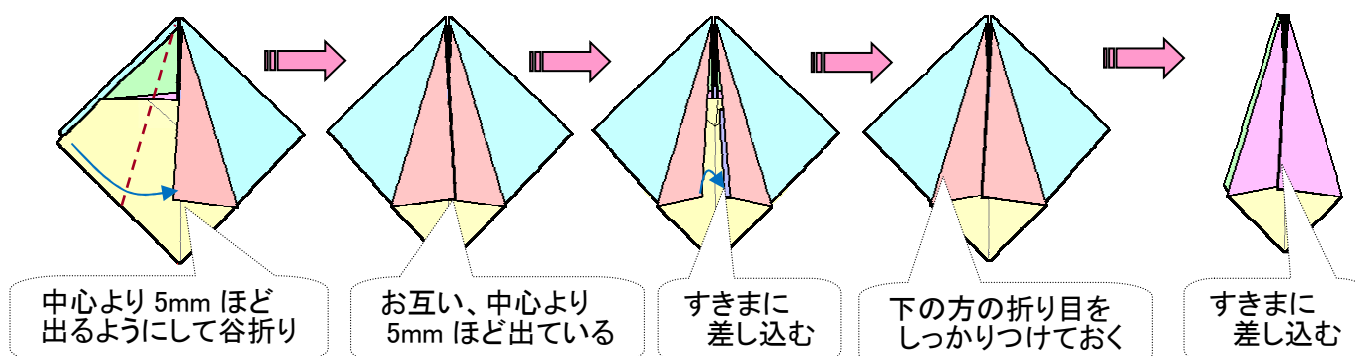
《参考》三角折りの沈め折り <基本的折り技術より>



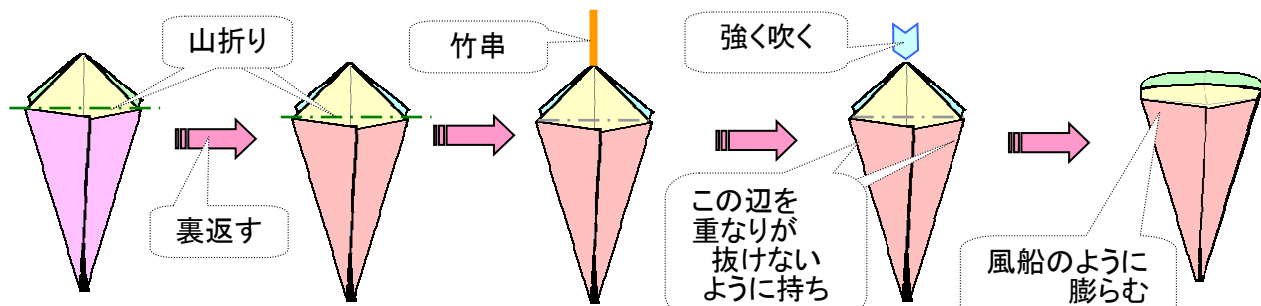
- ③ ①で折った筋目にどおりに再び折りこむ。②での沈み折りが見えるように横に回す。



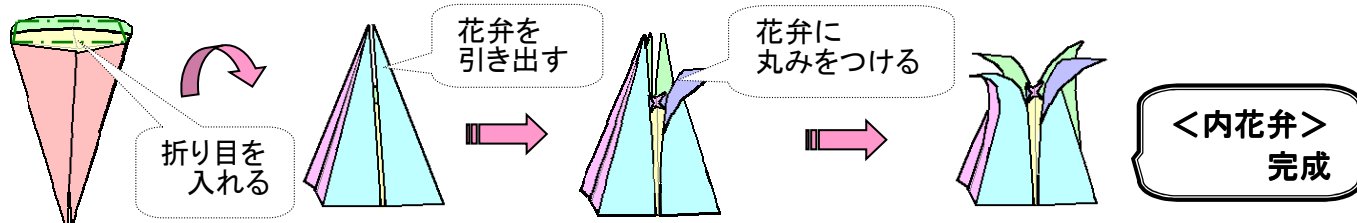
- ④ 図のように中心線から 5mmほど中心を越えて折りこみ、差し込む。裏側も同様折り、差し込む。



- ⑤ 風船のように膨らませるため、折り目を入れ、竹串で空気穴をはっきりさせ、上の方を持ち強く吹く。

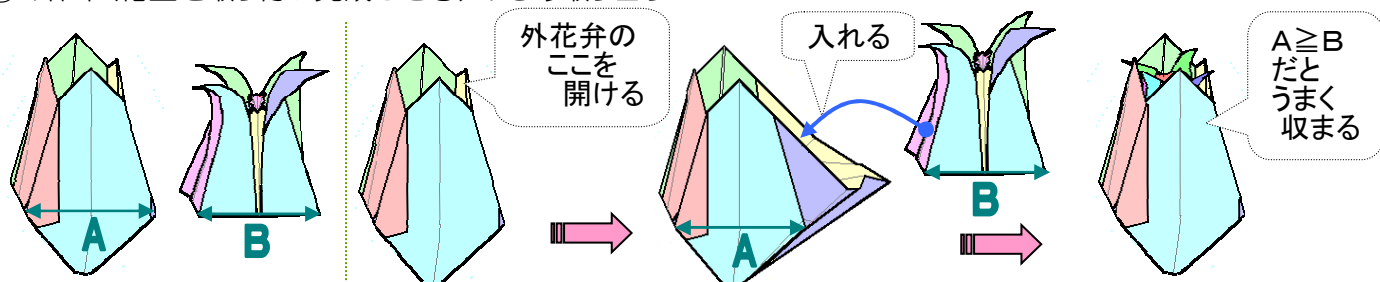


- ⑥ 膨らみを固定するために、下のラインに山折りの緩い折り目をつける。次いで上部の4枚をそっと引き出し、「沈み折り」あたりまで広げ、花卉のように竹串等で外側にしごき、丸みを帯びさせる。

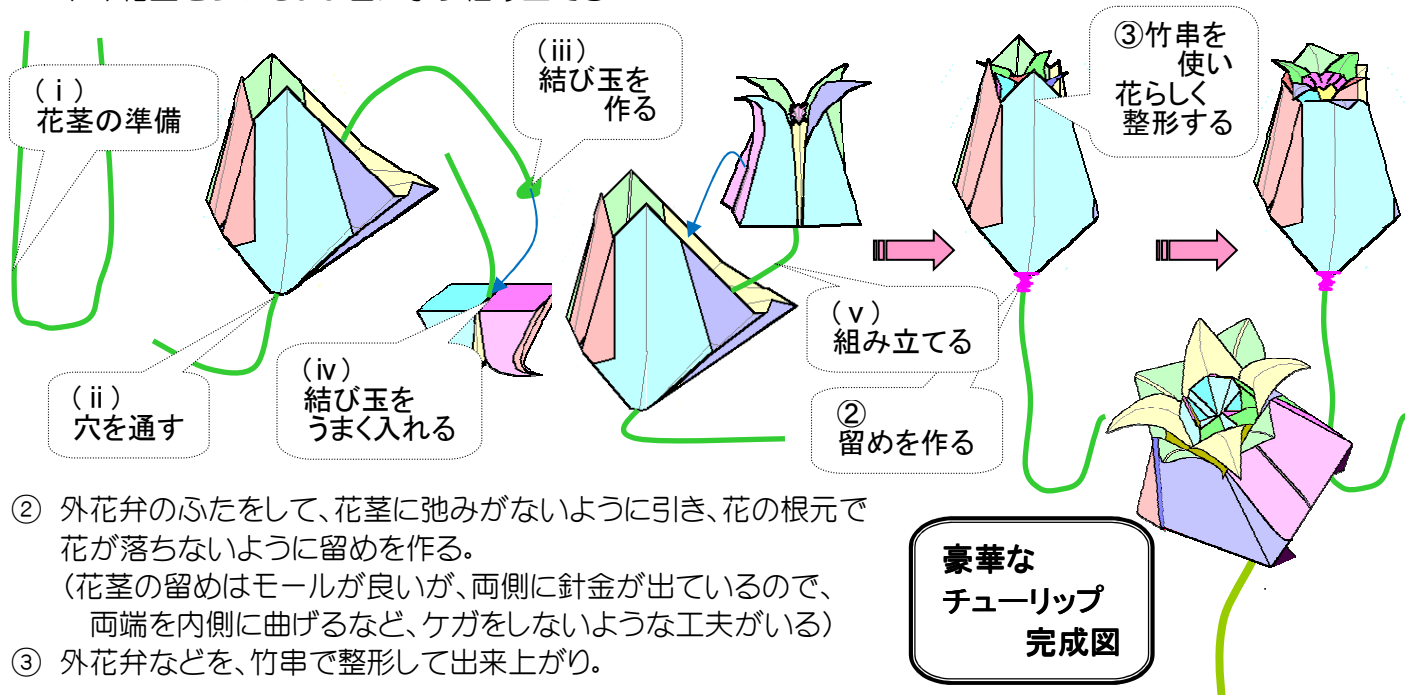


豪華な立体チューリップの組み立て:その3<8枚花卉:完成編>

内花卉の立体底部(B)より外花卉の幅(A)が、もしも、 $A < B$ なら組み立てできないので、簡単な方の外花卉を作りなおす。 $A \geq B$ なら図のように 外花卉の一隅を外し、試しに内花卉をいれる。うまく収まったらならば、①の作業(花茎を取り付け完成させる)のため取り出す。



- ① (i) 十分な長さの花茎を準備する。(花茎は園芸用ワイヤーソフトタイプが使いやすい。長さは約 20cm)
(ii) 外花卉を開いた状態で、底に開けた穴から上に通す。 (iii) 先端に留め玉となる結び玉を作る。
(iv) 次いで、内花卉の下にある息を吹き込んだ穴のすきまから結び玉をうまく入れる。
(v) 花茎をつけたまま図に示す組み立てる。



- ② 外花卉のふたをして、花茎に弛みがないように引き、花の根元で花が落ちないように留めを作る。
(花茎の留めはモールが良いが、両側に針金が出ているので、両端を内側に曲げるなど、ケガをしないような工夫がいる)
③ 外花卉などを、竹串で整形して出来上がり。